

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 一般財団法人倉敷成人病センター			住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 710-8522 岡山県倉敷市白楽町250		
本票作成	部署名：施設管理課						
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業				
事業の概要	医療業						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	倉敷成人病センター			岡山県倉敷市白楽町250		
	②	ライフタウンまび			岡山県倉敷市真備町箭田1130		
	③	倉敷成人病健診センター			岡山県倉敷市白楽町282		
	④	KMCすまいる保育園			岡山県倉敷市白楽町292-3		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度 ( 5 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 4.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)			目標年度 (令和 11 年度)						
	5,621 t CO <sub>2</sub>			5,397 t CO <sub>2</sub>						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量					
	①	倉敷成人病センター			5,303 t CO <sub>2</sub>					
	②	ライフタウンまび			40 t CO <sub>2</sub>					
	③	倉敷成人病健診センター			263 t CO <sub>2</sub>					
	④	KMCすまいる保育園			15 t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延べ床面積	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		263.161 kg CO <sub>2</sub> / ( m <sup>2</sup> )	254.009 kg CO <sub>2</sub> / ( m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

延べ床面積を母数に排出量原単位を設定し、目標年度である令和11年度において、温室効果ガスを5.0% (原単位ベース) 削減する目標を掲げる。①40,604㎡ ②6,057㎡ ③2,816㎡ ④460.7㎡

【目標削減率達成のための推進体制】

エコ委員会（委員長、副委員長、事務局、各部署代表者1名）を構成。2ヵ月／1回の委員会活動で、水光熱費の削減、廃棄物排出量の削減、リサイクル活動等の議題で目標設定を行い全体で運用。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
①倉敷成人病センター ③成人病健診センター	①センター棟EHP空調機19系統更新 ①クリニック棟氷蓄熱空調機2系統更新 ①③照明器具LED化 ③ファンコイルユニット16台更新 ①吸収式冷温水発生機2台更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
①倉敷成人病センター ③成人病健診センター	・センター棟照明器具LED化工事 ・クリニック棟照明器具LED化工事 ・リハビリ棟照明器具LED化工事 ・センター棟EHP系統空調機更新 ・センター棟GHP系統空調機更新 ・クリニック棟EHP系統空調機更新 ・センター棟温水ヒーター 給湯器へ更新 ・健診センター温水ヒーター 給湯器へ更新

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

①において、2025年度8月から新棟の未使用部分に新しい診療科を開設するため、2024年度よりエネルギー使用量増加の想定。②2023年3月末をもって事業撤退。24年度のエネルギー使用は維持管理のみに使用。これ以上の削減はない見込み。